

寄附で保護される京都の文化財

～令和5年度に実施した事業について～

○ 趣 旨

京都府では、国民的財産ともいえる府内の貴重な文化財を守り伝えるため、ふるさと納税制度を活用した「文化財を守り伝える京都府基金」を設置し、この基金を活用して、府内の貴重な未指定の歴史的建造物の保存修理、防災対策事業等に対して、助成を行っています。

助成事業は、事業の緊急性や必要性などを考慮するとともに、寄附者の御意向や学識経験者による専門家会議の意見をお聞きしたうえで選定しています。

令和5年度は、19件の保存修理・防災対策事業と、文化財保護の普及啓発に役立つ事業1件に助成しました。

この制度を通じて、府民の方々に、文化財に対する関心を深めていただき、文化財を保護し継承することの大切さをより一層理解していただくよう努めています。

○ 令和5年度の基金活用事業（20件）

(1)歴史的建造物など有形文化財の保存・修理事業 11件

事業者名	所在地	対象事業の概要	事業報告
(宗) 仏性寺	宮津市	山門唐破風軒裏板修理	
(宗) 須代神社	与謝野町	拝殿向拝銅板屋根葺替等修理	
(宗) 山口神社	舞鶴市	拝殿瓦屋根葺替等	
(宗) 室尾谷神社	綾部市	高森神社銅板屋根修理	P1 ①
(宗) 安楽寺	南丹市	太鼓堂瓦屋根修理	
(宗) 野家守神社	南丹市	本殿覆屋修理等	
ケルガードサイモン	京都市左京区	母屋瓦屋根・雨樋等修理	
(公財) 京都 YMCA	京都市上京区	サマリア館部分修理	
鈿菱弥	京都市下京区	母屋1階床・天井板張替、壁塗替等	
高乗政廣	京都市右京区	主屋茅葺屋根修理	P2 ②
今尾義	長岡京市	薫風亭北側壁面修理	

●事業報告① 宗教法人室尾谷神社（綾部市） 高森神社銅板屋根修理

綾部市五津合町の室尾谷神社境内に位置する高森神社は、大正時代以前に建立された建造物です。令和5年の大雪によって背後の木が倒れた際に屋根を直撃して破損し、早急に修理が必要な状況となったので、屋根の葺き替えを行いました。



（修理前）



（修理後）

所有者の思い 中上林地区を代表する神社として、後世に伝えるとともに、地域住民の心のよりどころを大切にする場として活用していきたいと思います。

●事業報告② 高乗政廣（京都市右京区） 主屋茅葺屋根修理

京都市右京区京北町の山国地区に位置する高乗家住宅の主屋は、明治時代初期に建てられた茅葺屋根の民家で、里山の良い景観を構成する建物です。経年劣化によって雨漏りが確認されたため、屋根の修理を行いました。



（修理前）



（修理後）

所有者の思い 今回の補助により建物を保全することができました。今後も京北地域の茅葺住宅を後世に伝えていけるよう努めたいと思います。

(2)地震・火災から有形文化財を守る事業 8件

※火災報知器や防犯機器等の設置のほか、文化財を守るための防災事業も対象としています

事業者名	所在地	対象事業の概要	事業報告
(宗) 賣布神社	京丹後市	本殿・拝殿白アリ防除	
(宗) 大丹生神社	舞鶴市	本殿覆屋板金屋根修理	
(宗) 篠田神社	綾部市	歴史資料を収蔵する土蔵基礎修理	
(宗) 御霊神社	南丹市	本殿覆屋土台修理・本殿柿葺屋根部分修理	
(宗) 伊達神社	亀岡市	本堂周囲危険木伐採	
(宗) 素盞鳴神社	亀岡市	本堂周囲危険木伐採	
(宗) 古岩神社	京丹波町	本殿覆屋屋根修理	P3 ③
(宗) 大原野神社	京都市西京区	若宮社覆屋設置	P3 ④

●事業報告③ 宗教法人古岩神社（京丹波町） 本殿覆屋屋根修理

古岩神社は、京丹波町の集落で大切に守られてきた神社です。令和5年の大雪に伴う倒木により、本殿覆屋の屋根に大きな穴が空きました。雨水の浸水等から本殿を保護するために、覆屋の改修工事を行いました。



（修理前）



（修理後）

所有者の思い 屋根の改修をしたことで雨漏り等を止めることができました。地域で永く大切に守ってきたこの文化財をこれからも後世に継承していきたいです。

●事業報告④ 宗教法人大原野神社（京都市西京区） 若宮社覆屋設置

大原野神社の摂社・若宮社は、元禄14年（1701）に建てられた、境内に現存する最も古い建物です。大切に守られてきたこの若宮社を永く後世に残し、多くの人に親しんでいただくため、覆屋を設置しました。



(設置前)



(設置後)

所有者の思い 300 年以上にわたって大切に守ってきた若宮社を、これからも万全に保全するための覆屋を設置することができました。地域内外の多くの方に親しんでいただければと思います。

(3) 文化財保護のこころを育む事業 1 件

事業者名	対象事業の概要	事業報告
明日の京都 文化遺産プラットフォーム	文化財の普及啓発	P4 ⑤

●事業報告⑤ 明日の京都 文化遺産プラットフォーム（京都市中京区）

千年前に想いを馳せ、百年後に思いを巡らせることにより、全ての人が日々の暮らしの中で京都の歴史の重さを感じ、それをかけがえの無いものとして捉えるようになることを目指し、様々な事業に取り組んでいます。今回は今日の文化を取り巻く現状を俯瞰し、実態に迫りながら文化を考察する「文化は社会の礎 ～京都の風流踊からひもとく地域文化とその将来像～」を開催しました。また、無形文化遺産シンポジウムでは「わからない、からはじめる百人一首・・・振り返ればそこにある、先人からの贈りもの」を開催しました。



(フォーラムの様子)



(無形文化遺産シンポジウムの様子)

主催者から一言 フォーラムやシンポジウムを通じて、文化に想いを寄せ、文化財保護のこころを育む機会の創出に努めています。老若男女問わず、幅広い方々の参加参画をお待ちしています。